

■日商岩井紙パルプ 販売金額は40億円減の270億円

大王、レンゴウG、NTI、大豊製紙

日商岩井紙パルプの23年3月期の段原紙販売量は38万トン(前期四三万五〇〇〇トン)と、前期比▲五万五〇〇〇トン減少。販売金額は二七〇億円(前期三二〇億円)と、▲40億円減少した。

◇段原紙販売量・金額	
数量(千トン)	金額(億円)
23・3	22・3
23・3	22・3
23・3	22・3
クラ	二四〇・二七〇
一九〇	二二〇
前期三二〇	二二〇
クラ・内ラ	三〇
三〇	三五
一五	一五

中芯 一・二〇 一・三〇 六・五 七・五
合計 三・八〇 四・三五 二七・〇 三二・〇

日商岩井紙パルプの段原紙主要販売先及び主要仕入先は次の通り。

◇段原紙主要販売先(カッコ内はシェア)

- ①レンゴウグループ(25%)、②日本トーカーパッケージ(10%)、③大日本パックス(8%)、④エフビコ(7%)、⑤新東和グループ(7%)、上位5社で57%(前回調査55%)、⑥花王(5%)、⑦

フジダン(5%)、⑧神崎紙器(3%)、⑨ダイナパック(3%)、⑩王子コンテナ(2%)、上位10社で75%(同74%)。

◇段原紙主要仕入先(カッコ内はシェア)

- ①大王製紙(51%)、②レンゴウグループ(15%)、③NTI(11%)、④大豊製紙(9%)、⑤カミ商事(6%)、上位5社で92%(同91%)、⑥王子グループ(5%)、その他(3%)

■レンゴウ 連結子会社を再編成

レンゴウは、グループ企業の変更なる向上を目的とし、連結子会社である大和紙器と日東紙器工業の合併、マタイ紙工と立川段ボール工業の合併を発表した。合併期日は24年4月1日を予定しており、大和紙器、マタイ紙工それぞれを存続会社とする吸収合併方式。日東紙器工業と立川段ボール工業は解散する。

◇大和紙器概要
所在地 大阪府茨木市西河原北町1-5、代表者 代表取締役社長 窪田英志、資本金 八億六〇〇〇万円
株主 レンゴウ(95・28%)、レンゴウロジスティクス(4・72%)
事業内容 段ボールシート・ケースの製造・販売、美粧ケースの製造・販売、フアイバー容器およびその関連製品の製造・販売、売上高 三六七億七二〇〇万円、従業員数 100名

◇立川段ボール工業概要
所在地 東京都台東区元浅草2-6-7、代表者 代表取締役社長 加部文夫、資本金 一〇〇〇〇万円
株主 日本マタイ(100%)、事業内容 段ボールシート・ケース・段ボールパレットの製造・販売、物流資材・包装資材の仕入れ・販売、売上高 三三億四二〇〇万円、従業員数 30名

◇マタイ紙工概要
所在地 東京都台東区元浅草2-6-7、代表者 代表取締役社長 加部文夫、資本金 三億四三〇〇万円、株主 日本マタイ(75%)、レ

■太田紙販売 12階建新本社ビル竣工 賃貸マンション併設

太田紙販売(株)(東京都台東区柳橋1丁目31番地6号太田ビル滝澤寛美社長)は、この度12階建ての新本社ビルを、二〇二四年2月29日で竣工する。築60年の旧本社ビルの耐震化ビル工事であり、同時にコインパーキング事業から賃貸マンション事業への転換を計った。創業当初(一九二二年)に縁のあった安田不

動産(東京都千代田区神田錦町2丁目11番地安田守社長)(旧安田財閥の中核であった安田保善社の第二会社)との共同事業である。太田紙販売の創業は、大正10年(一九二一年)であるが、創業者の太田弥五郎氏は、旧安田財閥の中核であった安田保善社にも関係していた。一方安田保善社は、安田善次郎翁没後には、東京大学安田講堂、日比谷公会堂を寄贈している。今回の建設プロジェクトは、二〇一八年8月に安田不動産に本社建替の相談をした事に始まり、正に原点回帰ともいえる内容となった。

新本社ビルは、JR中央・総武線浅草橋駅東口より徒歩3分、都営地下鉄浅草線浅草橋駅A6出口より徒歩2分と、交通至便な立地にある。1階が会社事務所(太田ビル)で、2階から12階は、賃貸マンション「レフィルオーブ浅草橋」全49戸となっている。マンション名称は、安田不動産の賃貸マンションブランド名であり、1DKから2LDKの11タイプを用意した。三方が道路に面しており、北面には、4本の柱のデザインがアレンジされ、1本が25年分、4本で計100年分と、向こう百年を見据えたデザインを意図している。また、東面のマンション部入口には、木製パネルによるデザインを採用し、製紙会社のグループ会社ゆかりである事を表現している。建設にあたり、コンクリート混和剤には、日本製紙グループの(株)フローリック(東

太田紙販売は板紙の卸売を本業とし、脱プラ・減プラの紙化製品で「紙」でできる事は紙で」を追求してきた。二〇二二年末からは、日本製紙のCNF新素材・セレンピア配合の漉澤ハンドクリーム、漉澤化粧水の開発により、化粧品販売にも展開した。今回の新ビル完成により、賃貸マンション経営にも参画する。

新事務所への移転は3月9日に、新事務所での営業開始は、3月11日(月)より。特段の行事は予定しないが、ご来客様に記念品を準備している。(紙製ボールペン、紙コップ、紙コップクロ、紙製メモ帳、漉澤化粧品入り等)

新事務所の来客機には、ナイス(株)(神奈川県横浜市)製の国産杉材を使用した天板・GYWOOD®キヌッドを採用した。原板の表面を48%圧縮し、傷がつきにくく、天然の木目が美しい製品。



◇日東紙器工業概要
所在地 奈良県生駒郡斑鳩町幸前2-9-13、代表者 代表取締役 木野田博之、資本金 三〇〇〇万円、株主 レンゴウ(100%)
事業内容 段ボールシート・ケースの製造・販売、売上高 一九億九三〇〇万円、従業員数 54名

◇大王グループ(25%)、②日本トーカーパッケージ(10%)、③大日本パックス(8%)、④エフビコ(7%)、⑤新東和グループ(7%)、上位5社で57%(前回調査55%)、⑥花王(5%)、⑦

日本製紙グループ
日本製紙総合開発株式会社
代表取締役社長 山本 哲哉
本社 東京都北区堀船1-1-9 TEL.03-3914-6161(代)

CRECIA
やわらかさ 破れにくさ
Kleenex since 1964.
日本製紙グループ 日本製紙クレシア株式会社

elleair エリエール
緑のボタン やさしい未来へ
大王グループは環境配慮型企業として地球の再生を目指し、持続可能な森林経営を行っています。
詳しくはこちら

トイレトペーパーからはじめる
エシカルな暮らし。
53% off
Smart Flower
ネット購入 特別仕様 3,500円
ご自宅に設置